

# 議員中央要望・中央研修

- 町長・議員の連名で提出した要望事項**
- 1 地方交付税の総額確保と寒冷補正の強化について
  - 2 東北中央自動車道「新庄湯沢地域間高規格幹線道路」の早期整備について
  - 3 地域木材の利用拡大及び森林環境贈与税の森林面積が大きい自治体への重点配分について
  - 4 外国人研修生への語学支援の創設について

国に関わる町の重要事項について、議員全員で衆議院、参議院の各議員会館等にて県内選出国會議員を各々訪問し、早期実現に向けた要望活動を行った。各国会議員は、各々30分もの時間を確保し、意見交換を行うとともに、貴重なアドバイスをいただきながら、実現に向け努力することも約束していただいた。

## 町の重要4項目の早期実現を要望 (11月19日)



加藤鮎子環境大臣政務官室にて

文部科学省を訪問し、「未来につなごう みんなの廃校プロジェクト」について、施設助成課の木村補佐と山田係長から廃校施設の活用事例を紹介いただいた。全国で毎年470校程の廃校が発生し、約75%が活用されている一方、約20%が用途も決まらず、放置されているという。アクセスが良くなっても、活用の可能性があり、企業に活用してもらうことにより、自立的に収益を上げ、補助金や税金に頼らず、持続可能な形で運営を行うことが真の地域活性化につながる。市町村だけではPRが難しく、文科省が企業へPRしているとのことであった。廃校になると決まった時点で次なる利活用を検討し、教育委員会ではなく、地域振興関係部局が中心となって検討を進めるべきとのアドバイスを受けてきた。



廃校施設活用事例集  
～未来につなごう～ みんなの廃校プロジェクト

多くの事例が記されたパンフレット



文部科学省で廃校利用を学ぶ

## 「廃校は、終わりではなく、始まり。」 (11月20日)

## 研修報告

# 人口減少に向き合い 共に生きる

議会運営委員会、議会活性化・財政健全化特別委員会合同研修

かねやま  
金山町  
「議会運営、議会活性化」  
10/9(水)

全国唯一の同名自治体  
人口約2000人。

親しみのある同じ町名のこの町は、人口の約60%が65歳以上であり、高齢化率は福島県内で1位。町の面積は東京23区の半分ほどで、2つの小学校がある。広大であるため、中心部の無床診療所の他に2つの出張診療所を置く。



平成23年豪雨の爪跡残る只見川

昭和50年、人口は5500人余りで議員定数は18人。徐々に削減し、平成19年選挙からは我が町と同じ10人とした。平成30年9月議会で



福島県金山町議会での視察研修

平成23年7月新潟・福島豪雨に見舞われ、一級河川が氾濫。激甚災害にも指定された。被害箇所やJR只見線の復旧現場も視察できたが、他人事ではないと強く感じた。

昭和50年、人口は5500人余りで議員定数は18人。徐々に削減し、平成19年選挙からは我が町と同じ10人とした。平成30年9月議会で

しょうわむら  
昭和村  
「診療所の現状と課題」  
10/10(木)

一体型施設の整備で活路  
昭和村は人口約1200人。高齢化率は隣

「議員定数等検討特別委員会」を設置し調査検討を始め、視察直後の選挙からは定数8人となっている。「面積の広さや民意の反映」という大きな課題を抱えての船出と聞くが、我が町も同様の課題と向き合い、多くの町民の声を聞きながら議論を深めたい。

夕方、2つの金山町の議員総勢20名が一堂に会し、懇談会を開催した。これまでにない交流が生まれ、再会を約束しながら有意義な時間を共にできたことに感謝したい。



すみれ荘を訪れていた移動販売車

そのままで点在していた保険、福祉医療に関する5部門の機能をこの施設に集約。特別養護老人ホームも隣接させたことで、サービスが連携しやすい体制を敷いている。

の金山町に次いで県内2位。20年以上も前に先見的とも言える一体型施設「昭和村保健医療福祉センターすみれ荘」を建設している。



一体型施設「すみれ荘」で話を聴く

我が町では、今後の診療所の在り方が示されたばかりだが、課題を掘り下げながら、欠かせないサービスの在り方を追求していかなければならない。診療科目は内科と歯科で、常勤医師が各1名。更に進む高齢化に対応するための交通手段、往診や訪問診療の拡充検討等が課題として挙げられていた。